

びわ北小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調査場所名 (No.)		長浜市小観音寺町 No.1	高山キャンプ場 No.2	No.3													
月	日	時	刻	6月13日 9時00分		6月21日 9時00分											
天		気				晴れ											
水		温 (°C)				17.2 °C		17.0 °C									
気		温 (°C)				24.0 °C		22.0 °C									
川		幅 (m)				0.9 m											
河		川				名		姉川支流(中川)		草野川							
生		物				を				採							
取		し				た				場							
所		川				の				右		岸					
水		深 (cm)				10.0 cm		30.0 cm									
流		速 (cm / s)				50.0 cm/s											
水		の				よう				す							
		指				標				生							
		物															
I きれい	1	カワゲラ類						○									
	2	ナカレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類						○									
	3	ヒラタケロウ類						○									
	4	ブユ類															
	5	ヘビトンボ類						○									
	6	ガガンボ類				○		○									
	7	サワガニ				○		○									
I・II 共通	8	ウスムシ類															
	9	2以外のトビケラ類				○		○									
	10	3、14以外のカゲロウ類				●		●									
II 少しよごれている	11	ヒラタロムシ類															
	12	シジミ類															
II・III 共通	13	カワニナ				○											
III よごれている	14	サホコカゲロウ				○											
	15	ヒル類															
	16	ミスムシ															
	17	モノアラガイ															
III・IV 共通	18	サカマキガイ															
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ				○											
	20	イトミミズ類															
	21	ハナアブ類															
水 質 判 定 表	水		の				よう				す						
			の				区				分						
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)				4	3	1	1	8	2						
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)				1	1			1	1						
	合		計 (1欄+2欄)				5	4	1	1	9	3					
判		定				結				果							
表		果				合				計							
		が				最				も							
		大				き				い							
		区				分											
		I				I											

活動内容、調査考察等

本校では、総合的な学習の時間において「早崎ビオトープ学習」というテーマのもと、学区内にある早崎ビオトープの水環境や自然の変化を観察しながら学習を進めてきました。また、河川の水環境の学習は、6月に「やまのこ学習」で草野川の観察と学区内の小観音寺町を流れる川の観察を行いました。昨年と同じ地点で水生生物の観察を行い、川や水の様子・水生生物について調べました。

(1) 早崎ビオトープ学習

5月24日に地域の専門家の方に来ていただき、早崎ビオトープの歴史や自然について詳しく教えていただきました。また、ミシシippアカミミガメという外来種のカメが増えてきて、他の生き物を食べてしまう話を聞きました。このままでは生き物のバランスが崩れてしまうことがわかりました。そこでカメを捕獲するしかけ作りに協力することにしました。日本最大のビオトープ実験地で、豊かな自然を取り戻すための活動が進んでいます。ビオトープ実験調査が始まってから、ヒシの実やコハクチョウが年々増えてきていることも教えていただきました。

6月4日に現地で調査をしました。早崎ビオトープは、水深が年々深くなってきており、中に入って生き物をとるのは難しくなりました。そこで、船に乗せていただいて、地域の専門家の先生と一緒に作った「カメを捕獲するしかけ」を引き上げました。しかけを引き上げると、7匹くらい大きいカメや小さいカメが入っていました。大きいものは30cm以上もあり驚きました。他の生き物を食べてしまわないように別に囲われた場所に入れました。あまり深くないところでは、一人ひとりが網を使って生き物を探すと、エビや小魚がたくさんとれました。

地引き網体験では、たくさんの生き物がとれたので種類ごとにトレイにまとめ、名前を教えてくださいました。ナマズの子どもは今年初めて確認されたそうです。このまま大きく育てほしいと思いました。

【採取・観察した生き物】

フナ、ライギョ、ミシシippアカミミガメ、ミドリガメ、スジエビ、メダカ、ドンコ、ムツゴ、ヨシノボリ、ナマズヤゴ、カワニナ、ヒシ、ヨシ、ガマなど



《環境日記より》

- ・ 早崎ビオトープはたくさんの生き物が生きていて自然豊かな場所だと思った。
- ・ 地引きあみでとれた水生生物の名前をたくさん知ることができた。
- ・ ミシシippアカミミガメのような外来種がいることがわかった。捕獲して別の場所に移し、生き物のバランスを保つことが大切だと思った。

(2) 校区の小観音寺町の川で水生生物観察会

6月13日に小観音寺の川や水路で水生生物観察会を行いました。水生生物に詳しい地域の方を講師に迎えて採取の方法や観察の方法について説明を聞きました。最初、網を使って水生生物をとろうとしましたが、なかなかとれませんでした。そこで、金網に変えて川底を足でこすると、多くの水生生物がとれました。友だちと協力しながら活動し、様々な生き物に触れることができました。水質は昨年より1段階上の「きれいな水」と判定されました。観察会のまとめをして、びわ地域の川の水に目を向けるよい機会になり、あらためて地域の川を大切にしていきたいと思いました。

【採取・観察した生き物】

カワナ、サワガニ、ナベブタムシ、ヨシノボリ、スジエビ、ヌマエビ、ヤゴ、ドジョウ、トビケラ、モンカゲロウ、カワムツ、ハグロトンボの幼虫、コオニトンボの幼虫など





《環境日記より》

- ・ 2人で協力してとる方法を教えてもらって試してみると、たくさんとれてうれしかった。
- ・ 身近な川にもたくさんの生き物がいることがわかった。
- ・ 植物がたくさんあって生物たちもすみやすそうだった。
- ・ 高山キャンプ場の草野川とは違う種類の水生生物がいた。
- ・ きれいなところにすむ水生生物もいたので、これからもきれいな川を守っていきたく思った。

（3）環境学習の発表

12月10日に、リュートプラザで旧びわ町の時代から活動しておられる「びわ地区青少年健全育成会」の主催する「湖のまちミニ・フォーラム」で、水生生物調査の結果や考えたことを発表しました。

たくさんの方に取り組みを聞いていただき、自分たちが取り組んできた学習を発表するよい場となりました。またびわ中学校、びわ南小学校の取り組みも聞くことができ、よい勉強になりました。



（4）環境学習のまとめ

今までの環境学習を振り返り、考えたことをまとめました。あらたに生まれた課題について今後とも考え、行動をしていきたいです。

- ・ 地域の人々の力で早崎ビオトープという自然豊かな場所ができた。
- ・ びわ北小学校区には多くの水生生物が生きることがわかった。
- ・ それぞれの水環境にあわせて多くの種類の水生生物が生きていた。
- ・ すばらしい自然を守るために自分たちにできることを考えていきたい。